

国葬にあたり安倍元首相を偲ぶ！

故安倍元首相について、甲子園の外野席、野次馬観客と同じレベルで各界有識者と自認している連中が口角泡を飛ばしている。皮肉にも同時期、英国では故女王の国葬が厳かに行われている。英国と日本のリーダーたちの、節操品位の格差は恥、国辱を通り越して悲しくなる。経済評論家の高橋洋一氏は、国会議員の中で、世界経済を俯瞰出来ていた政治家は、故安倍氏一人だけであったと断言されている。

高橋氏と同様の思いは、甘利明氏、元首相の菅氏も同意見ではなかろうか。

大胆な発言をさせて貰おう！ 安倍氏は凶弾に倒れた。

もし存命で、政界・経済界で今も活躍できる立場であるならば・・・

①統一教会関連団体は国権で解散。事務所も閉鎖、解散を強行する。

上記に関わった政治家は全員次回の選挙まで追放する。

②国連改革に取り組み、日本が率先して敵国条項、拒否権制度を廃止する。

③国会議員の定員を毎年30人当て減らし、5年で150人減らす。

挙げれば、キリが無いが、故安倍元首相信奉派の私としては「今現在生きておられたならば・・・」と、外野席の無責任なヤジに反論したくなるのだ。

海外170前後の国、地域を歩いたのも故安倍首相に負けていない。

諸外国で、安倍氏が活躍中に「日本が世界でどの様に高く評価される様になったか」

この事も、そこらの野次馬よりも肌で強く感じてきた。

安倍氏は、君らの様に野次馬ではなく「真のプレイヤー」だったのだ。

2022年9月20日

小田兼利